

## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東  
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 高橋 謙輔 TEL 03 (3553) 8118  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	20,038	—	1,287	—	1,328	—	748	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 756百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	91.57	88.56
25年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成25年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。  
 (注) 2. 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。  
 (注) 3. 当社は平成26年9月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	16,154	3,689	21.6
25年12月期	12,273	1,147	9.4

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 3,494百万円 25年12月期 1,147百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,091	31.6	1,833	195.6	1,750	69.2	910	579.1	108.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成26年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、平成26年9月29日を払込期日とする公募株式数(816,500株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）L. A. Style株式会社、除外 —（社名）

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	8,982,000株	25年12月期	8,165,500株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	—株	25年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	8,171,482株	25年12月期3Q	—株

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。

(注) 2. 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれているため、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなど、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が長期化するなどの懸念が残り、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは第3四半期に以下のような諸施策を推進し、積極的な売上拡大へ取り組んでまいりました。

主力業態である「築地銀だこ」では、夏休み期間に合わせた新商品の投入、新聞折込チラシやSNSを活用した販売促進活動、移動販売車「銀だこカー」による催事への出店などで、夏季需要を積極的に取り込んでまいりました。また既存の「築地銀だこ」店舗に、宅配システムを複合し利便性を高めた店舗を東越谷(※FC店)でオープンするなど、個別店舗の収益力強化にも注力いたしました。

「銀のあん」については、夏場に落ち込む販売を補うべく、「クロワッサンたい焼 ひんやりカスタード」を季節限定メニューとして投入し、またヒット商品となった「クロワッサンたい焼」を、新たに一部の「築地銀だこ」店舗でも取り扱い始め、相乗的な売上向上を実現することができました。

「日本橋からり」「やきとりのほっと屋」については、ランチ需要の更なる獲得を目指し、メニューの見直しを進めた結果、昼食時間帯の来客数及び売上を伸ばすことができました。

COLD STONE CREAMERYは、季節に合わせたメニュー展開を行い、7月から8月にかけて、デザートドリンク「COOLLY'S(クーリーズ)」、9月は「ハッピーハロウィーン」キャンペーンが好調に推移したことに加え、一部コンビニエンスストアでの限定商品「クランチャーパンプキンパーティー」を全国展開いたしました。売上・商品競争力などの「強み」により新たな顧客層の獲得や、それを活かした新たなネットワークの拡大を図ることができました。

海外展開については、平成26年8月にタイ国の「Proposal Co., Ltd.」社と「クロワッサンたい焼」業態の同国での拡大を目的として、新規でエリアフランチャイズ契約を締結いたしました。また香港及び台湾地区においても、連結子会社である「WAEN International Limited」社、及び「台湾和園國際股份有限公司」社を通じ、「クロワッサンたい焼」の販売開始に向けた検討を開始し、今後の出店加速に向けたバリューチェーンの構築を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,038百万円、営業利益は1,287百万円、経常利益は1,328百万円、四半期純利益は748百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3,880百万円増加し、16,154百万円となりました。これは主として、平成26年9月30日付で東京証券取引所マザーズに上場し、平成26年9月29日を払込期日とする有償一般募集による払込を受けたことに伴う現金及び預金の増加と、有形固定資産及び無形固定資産の増加によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,339百万円増加し、12,465百万円となりました。これは主として、短期借入金及び支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて2,541百万円増加し、3,689百万円となりました。これは主として、有償一般募集による払込を受けたことに伴う資本金及び資本準備金の増加、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、及び少数株主持分の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成26年9月30日「平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」)の予想数値を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、L. A. Style株式会社については新規に設立したため連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,685,084	4,261,911
受取手形及び売掛金	1,856,949	1,306,565
たな卸資産	1,062,766	1,344,072
その他	540,797	680,129
貸倒引当金	△21,000	△11,200
流動資産合計	5,124,597	7,581,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,972,613	3,732,136
その他(純額)	1,105,106	1,175,481
有形固定資産合計	4,077,719	4,907,617
無形固定資産		
のれん	391,805	768,871
その他	133,013	177,030
無形固定資産合計	524,819	945,902
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,606,326	1,825,566
その他	952,889	901,708
貸倒引当金	△12,632	△7,717
投資その他の資産合計	2,546,583	2,719,557
固定資産合計	7,149,122	8,573,077
資産合計	12,273,720	16,154,556
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,783	950,989
短期借入金	2,286,426	2,927,711
1年内返済予定の長期借入金	988,392	1,222,788
未払法人税等	253,687	181,013
資産除去債務	16,743	3,777
賞与引当金	42,812	122,767
その他	1,796,851	1,678,295
流動負債合計	6,122,696	7,087,342
固定負債		
長期借入金	4,325,375	4,410,621
資産除去債務	273,706	423,511
退職給付引当金	36,632	41,756
その他	367,417	501,877
固定負債合計	5,003,131	5,377,766
負債合計	11,125,828	12,465,108

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	827,750	1,620,244
資本剰余金	720,250	1,512,744
利益剰余金	△368,624	379,657
株主資本合計	1,179,375	3,512,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,510	1,120
為替換算調整勘定	△32,994	△19,159
その他の包括利益累計額合計	△31,483	△18,038
少数株主持分	—	194,839
純資産合計	1,147,891	3,689,447
負債純資産合計	12,273,720	16,154,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,038,485
売上原価	7,475,125
売上総利益	12,563,360
販売費及び一般管理費	11,275,780
営業利益	1,287,579
営業外収益	
受取利息及び配当金	2,051
為替差益	88,123
その他	23,959
営業外収益合計	114,134
営業外費用	
支払利息	40,699
株式交付費	11,635
株式公開費用	6,804
その他	13,601
営業外費用合計	72,741
経常利益	1,328,972
特別利益	
固定資産売却益	14,073
特別利益合計	14,073
特別損失	
固定資産除却損	40,439
店舗整理損失	75,059
子会社株式売却損	39,524
その他	12,708
特別損失合計	167,732
税金等調整前四半期純利益	1,175,313
法人税、住民税及び事業税	296,108
法人税等調整額	136,082
法人税等合計	432,191
少数株主損益調整前四半期純利益	743,121
少数株主損失(△)	△5,160
四半期純利益	748,282

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	743,121
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△390
為替換算調整勘定	13,834
その他の包括利益合計	13,444
四半期包括利益	756,566
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	761,726
少数株主に係る四半期包括利益	△5,160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年9月29日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による払込を受け、新株式816,500株の発行を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ792,494千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,620,244千円、資本剰余金が1,512,744千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。